

後援会長就任にあたり



埼玉工業大学後援会
会長 奥山良男

埼玉工業大学後援会第三十四代会長に就任いたしました奥山でございます。

私は長年ソフトボールの審判員として、中体連、高体連、大学、実業団と数々の試合を見てきました。

選手諸君は、練習に練習を重ね球場へ、そして、審判員は、ルールを学び、試合に臨みます。選手は勝負に挑んでいきます。審判員は判定という裁定を下します。試合後、今日の判定は正しかったかなど反省会をします。そして次の試合に臨みます。

私がこれまで、これは良い審判をしたなと思われるのが、昭和五十五年栃木国体成年女子、県代表決定戦、足利学園対私立宇都宮女子商業の試合の主審をしたことです。足利学園の岡部監督、当時日本ソフトボール協会の技術部門を担当していた土岐監督の戦いでしたが、結果は宇都宮女子商業が代表になりました。県代表を決める、大事な試合を担当させていただき、役員の皆様、本当にありがたく私の宝物と心に思っております。

さて、後援会会員の皆様には、後援会運営にご協力頂き誠にありがたく、また他の大学では見られない活動力のある組織であると心より思っております。

事業計画の中で、特に力を入れているのが、保護者懇談会です。九月と十月、年二回開催され、お子様の成績を元に個別面談が担当教員により、学生生活などの確にご指導していただけると共に、教務、就職、学生関係などの担当者による講演会が同時進行で行われます。

個別面談では、卒業後の進路に至るまで相談することができますので、大勢の皆様が参加することを望んでおります。また、学園祭の支援と後援会役員による模擬店を出店するため、プロジェクトチームを立ち上げ、学生と共に学園祭を盛り上げようと思っております。その他、宗教研修会、ふかやシティハーフマラソンの参加で、後援会と教職員、学生との交流を通じて、埼玉工業大学の名を広く世に広めて行きます。

最後になりましたが、会員皆様の後援会事業に積極的にご参加頂き、埼玉工業大学を盛り上げて行きましょう。

一年間宜しくお願い致します。